

## 令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
国語	<p>(1)日常生活に必要な国語について、その特質を理解し、話や文章で適切に使うことができるようにする。</p> <p>(2)日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。</p> <p>(3)言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     本校における全国学力・学習状況調査                      平均正答率 71%                 </div> <p>[知識・技能に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字の書き順を間違えたり、書字が雑になってしまったりすることがある。</li> <li>・語句や語彙が少ない。</li> <li>・読書の量や読み聞かせの機会が少ない。</li> <li>・前年度に学習した配当漢字について、読むことはできているが書くことに課題がある。定着している児童とそうでない児童の二極化が見られる。</li> </ul> <p>[話すこと・聞くこと]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関わる大人が限定的で、コミュニケーションの機会も少なく、伝え合う力が不足している。</li> <li>・話の大事なことを落とさずに聞くことに課題がある。</li> </ul> <p>[書くこと]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記述の問題に課題がある。文章を組み立てる技能が定着していない</li> <li>・伝えたいことや要旨を的確に伝えたり、捉えたりすることに課題がある。</li> <li>・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を結び付けて</li> </ul>	<p>[知識・技能に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉛筆の持ち方や姿勢など、書字の際の基礎基本を丁寧に指導し、身に付けられるようにする。指導講師と連携し、書字に関して課題がある児童には個別に対応する。</li> <li>・授業の中で語彙を増やす、辞典を活用する、漢字を定着させる等、基礎・基本を大切にしていく。読書タイムの充実を目指し、詩の朗読や俳句や短歌に親しみ、言語感覚を養うとともに、言葉を尊重する態度を養う。</li> <li>・漢字の知識が定着していないため、漢字の小テストを実施する。</li> </ul> <p>[話すこと・聞くこと]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思考ツールを用いることや対話型のスピーチを行うことで、自分の気持ちや考えを的確に表現したり、相手の話を最後まで聞いて相手の伝えたいことを捉えたりすることができるようにする。</li> <li>・児童とともにロールプレイングを行う。日頃から焦点を絞って話し合う機会を設け協働する経験を積み重ねる。</li> </ul> <p>[書くこと]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を書き出す前に、はじめ・中・終わりで何を伝えたいのかが分かるようにワークシートを活用する。</li> <li>・文章の構成や書き方、内容などについて、例を提示しながら重点的に指導したり日頃から自分の考えを書いたりする活動を取り入れる。</li> <li>・それぞれの段落に書くことを短冊</li> </ul>

## 令和7年度 授業改善推進プラン

		<p>書くことに課題がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙が少なく表現に偏りが見られる。</li> <li>・問いに対して指定された題意や字数を的確に捉えて書くことに課題がある。</li> </ul> <p>「読むこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情景についての理解が低いため、物語への感想がいつも同じような言葉で叙述に基づいて理由を表現することができずに自分の思いのみで答えてしまう場合がある。</li> <li>・人物像や物語の全体を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることに課題がある。</li> </ul>	<p>にまとめられるようにし、児童が文章の構成を考えた上で書けるようにする。</p> <p>[読むこと]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面を丁寧に読み込み、叙述に基づいて理由を説明する習慣を身に付けられるようにする。</li> <li>・学習した内容に関連した本を紹介したり読み聞かせをしたりして本と日常的に関わる機会を設けることで読書に興味関心をもてるようにする。</li> </ul>
--	--	--	--

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	<p>(1)社会生活について理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握したりして、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。</p> <p>(3)社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養う。</p>	<p>[知識・技能に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・方角など、地図の読み方が定着していない。</li> <li>・写真等の資料を分析し、情報をまとめることに課題がある。</li> <li>・本や ICT を活用し、情報収集をする力が身に付いてきている。一方で、たくさんの情報の中から課題解決に必要な情報を的確に判断し、選ぶことに課題が見られている。</li> <li>・日本や世界の国土についての知識の習得に課題が見られる。</li> </ul>	<p>[知識・技能に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地図に関する知識・技能が低いので、地図を扱う学習を取り入れて学習を展開していく。</li> <li>・調べたことをまとめる際には、穴埋めプリントを用意したり、ノートとタブレットを選べるようにしたり、児童の実態に合わせて学習活動ができるようにする。</li> <li>・学習問題や本時のめあてを丁寧に確認し、学習内容を十分に理解させた上で展開する。本や ICT を活用した調べる活動では、必要な情報を判断できるようにする。</li> </ul>

## 令和7年度 授業改善推進プラン

		<p>[思考・判断・表現に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の資料から必要な情報を読み取ったり関連付けて把握したりすることに課題が見られる。</li> <li>・気付きや考えを文章として表現し、伝えることに課題が見られる。</li> <li>・社会的事象への見方・考え方を多角的に捉えたり、自分たちの身近な社会的事象と関連付けて考えたりしたことを、表現することが難しい児童が見られる。</li> <li>・調べた内容について特徴を整理し、目的に応じてまとめることや、自分の考えを文章で表現することに課題がある。</li> </ul> <p>[態度に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象について、自分事として捉えられず、問題解決に向けて主体的に取り組もうとする意欲が低い。</li> <li>・政治について消極的に捉えていることがあり、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする意欲が低い児童がいる。</li> </ul>	<p>[思考・判断・表現に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を分析したり、情報を整理したり、他者と自分の考えの相違に気付かせたりするなど応用力を高める指導を行う。</li> <li>・見やすく情報が伝わりやすい資料を精選する。また、テーマごとに資料を用意し、相互の関連について考える活動を増やす。</li> <li>・まとめる活動では、単元によって個人、小集団など、様々な形式をとる。他者が調べたり、まとめたりした内容を知ること、考え方や表現の良さに気付かせ、思考力を高めさせる。</li> </ul> <p>[態度に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの特色や取り組み、伝統や文化などがどのように自分の生活に関わっているかについて調べ、気付きを増やせるようにする。</li> <li>・学習内容に関連する時事問題を取り上げたり、学習内容を児童の身近な話題に置き換えたりする。</li> <li>・意欲向上を目指し、資料の提示や疑似体験などを有効に利用する。</li> <li>・導入場面では、実物や資料の提示方法を工夫することで、児童から問いや疑問が出されるように工夫する。</li> </ul>
--	--	--	--

## 令和 7 年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
算 数	<p>(1) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 日常の事象を数理的に捉え、見直しをもち、筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし、統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     本校における全国学力・学習状況調査 平均正答率 70%                 </div> <p>[学力調査やテストの結果から]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計算や図形、データの活用、測定の領域で全国平均・東京都平均ともに上回っており、既習事項の定着率は高いといえる。一方で、日常の事象を数理的に捉え、問題を筋道立てて考察する力に課題が見られる。</li> <li>・基礎的・基本的な問題解決力の向上がうかがえる。一方、記述式や短答式の問題の回答率が低いことは課題であり、問題文を読んで考えたことを説明することには課題が見られる。</li> </ul> <p>[単元ごとの特徴]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「長さ」や「水かさ」などの単位の量感や、「時刻と時間」の問題は、その他の単元と比較して平均点が低い傾向にあった。具体物や日常生活と関連付けた学習理解の面に課題が見られる。</li> <li>・「大きな数」や「角の大きさ」において、学習の理解や抽象的な概念の理解に課題が見られる。</li> <li>・「小数のわり算」「小数の倍」のテストにおいて、立式の根拠や具体的な場面での活用に課題が見られる。</li> </ul> <p>[授業の様子から]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題文を読んで、立式することに苦手意識をもつ傾向がある。</li> <li>・他の考え方や解法はないかを考えたり、学んだことを学習に生かそうとしたりする態度に課題が見られる。</li> </ul>	<p>[導入場面における工夫]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵や具体物を用いて、視覚的に問題場面を捉え、立式ができるようにする。</li> <li>・学習内容に関連した具体物や動画、挿絵を見せながら行うことで、算数に苦手意識のある児童でも意欲的に取り組みやすくなるよう工夫する。</li> <li>・児童が身近な生活場面と関連付けて考えられるよう、問題をすぐに提示するのではなく、日常の出来事をきっかけにし、課題を提示する。</li> </ul> <p>[展開場面における工夫]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決の場面では、一人一つまたは班に一つ手で触れる具体物を用意し、直接物に触れながら考えられるようにする。</li> <li>・自力解決の場面では、問題解決までの過程に着目するよう言葉掛けを行い、図や言葉で考えをノートに書き表せるよう指導する。</li> <li>・集団検討の場面では、「友達の考え」について、他の児童に問い返したり、ノートやワークシートに書苦時間を設けたりすることで、様々な考え方に触れる機会を増やせるようにする。</li> </ul> <p>[終末場面における工夫]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のまとめの場面は、学習内容を振り返るだけでなく、学んだことをどのように生かせるか考えさせるような言葉掛けや、ノートに記述する機会を設ける。</li> </ul>

## 令和 7 年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	<p>(1) 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。</p> <p>(3) 自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     本校における全国学力・学習状況調査                      平均正答率 59%                 </div> <p>[学力調査・テストの結果から]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「子葉」「昆虫」「成虫」などの用語について習熟が十分ではない児童がいる。</li> <li>・A「物質・エネルギー」B「生命・地球」領域ともに、児童による理解度に差が見られる。</li> <li>・自然事象について、身の回りのエネルギーに関わる現象については理解しているものの、他の現象についての理解度が低い。</li> </ul> <p>[観察・実験・授業の様子から]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を見い出す力はまだ不十分と言える。</li> <li>・根拠を基に予想をしたり、結果を基に考察したりすることに課題が見られる。</li> <li>・観察や実験について用具を用いて正しい手順で行うことはできるが、観察したものや実験結果から考察したことを言語化することに課題が見られる。</li> <li>・実験が終わった際に継続して世話を続けることやその後どうなっているのかと観察することに課題が見られる。</li> </ul>	<p>[知識・技能に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理科的用語に対する理解を促すために、生物や植物では、探したり育てたりする活動を取り入れる。</li> <li>・観察、実験などの技能を高めるために、実験器具に触れる機会を十分に設け、実験方法の立案を見童自身が行えるようにする。</li> </ul> <p>[思考・判断・表現に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に理科の見方や考え方につながるような児童にとって身近な話題を提示する。</li> <li>・児童の経験や視覚的資料を活用して問題が見い出せるような導入の工夫をする。</li> <li>・児童が意見を出し合いながら問題をつくる授業を展開していく。</li> <li>・考察をする際に、視点を明確にすることで、得られた結果から問題に対して考えられるようにする。</li> <li>・実験結果から気付いたことを表現する時間を十分に取り、発達段階に合わせて話型を示したり疑問などを解決したりする時間をとる。</li> </ul> <p>[態度に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限り実物を用いたり、自分たちの体験したことについて想起したりする機会を設けた授業を行う。</li> <li>・実験が難しい単元では、ICT を効果的に活用して児童の理解を深められるようにする。</li> <li>・季節ごとに学校の自然を観察するなど、日ごろから自然に触れ合う機会を増やす。</li> </ul>

## 令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
生活科	<p>(1)具体的な活動や体験を通して、感じたり気付いたり、わかったり、できるようになったりする。</p> <p>(2)生活の中で気付いたことやできるようになったことなどを使って、繰り返し考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする力を養う。</p> <p>(3)様々な活動を通して感じたことや気付いたことを生かして、より良い生活を営もうとする態度を養う。</p>	<p>[生活経験の差から]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りに自然環境が少ないため、経験が不足している児童が一定数いる。</li> <li>・家庭の多様化により家庭環境や生活経験に差がある。</li> </ul> <p>[児童の様子から]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よい気付きがあるにもかかわらず、表現の方法に戸惑う児童がいる。</li> <li>・気付いたことや学んだことを次の単元や他の教科につなげることが難しいと感じる児童がいる。</li> </ul>	<p>[環境に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特色、児童が接することのできる物的・人的資源を把握し、身近にある施設や環境を活用、開発できるようにする。</li> <li>・校内の物的・人的資源を活用、開発し、人や自然とかがわる場を増やしていく。</li> </ul> <p>[授業を行う上で留意すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の児童がどのような生活経験や体験をしてきたのかを的確に把握し実態をつかむ。</li> <li>・活動では、思考する→試す→工夫することを繰り返し行えるような場と時間の確保をしていく。</li> <li>・多様な表現方法を教えたり、準備したり、表現する時間を設けたりする。</li> <li>・生活科での気付きを次の学習でも生かせるように、児童の発言、記録カード、作品、写真等を記録したり、掲示したりして、振り返り促す。また、授業者が意図的に学習内容や気付きをつなげる。</li> </ul>

## 令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	<p>(1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性をはぐくむとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。</p>	<p>[表現に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱表現について、自分の歌声を大切にしながら楽しく歌う姿が育っているが、必要以上に大きな声で自己主張の強い歌い方をしてしまう傾向があることに課題が見られる。</li> <li>・器楽表現について、範奏を聴いてリズムを摸奏する活動に意欲的であるが、リズムが不確かであり拍の感覚を身に付けていくことに課題が見られる。</li> <li>・鍵盤ハーモニカの学習について、運指の正確さに課題のある児童がいる。技能差が大きい。</li> <li>・歌唱・器楽分野において、曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解しているが、表現するために必要な技能については個人差が大きい。また、主体的に思いや意図をもって表現を工夫することに課題が見られる。</li> </ul> <p>[鑑賞に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞分野においては、聴く視点に着目して音楽を味わって聴くことができるが、感じ取ったことを言語化することに課題が見られる。</li> </ul> <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱表現から器楽表現、鑑賞活動から器楽表現など、音楽との関わり方を工夫することで、音楽を親しむ態度が養われている。</li> </ul>	<p>[表現に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱表現では、歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付き、友達と互いの歌声を聴き合って調和のとれた声を合わせて歌うことができるようにしていく。</li> <li>・リズムについての学習では、言葉や身の回りの音に含まれているリズム・パターンを扱ったり、音楽に合わせて手拍子をしたり歩いたりすることができるような、一定の間隔で刻まれる音楽を扱ったりして拍の間隔を身に付けていく。</li> <li>・鍵盤ハーモニカの学習では、木琴、鉄琴などの鍵盤打楽器を取り入れながら様々な楽器に触れる機会を多く設け、旋律を演奏するよさや面白さを感じさせながら技能を身に付けていく。</li> <li>・学習を進めるにあたり、発声の仕方、立ち方、リコーダーの指づかいの確認をすることで基本的な技能を身に付けていく。</li> </ul> <p>[鑑賞に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と互いに音を聴き合うことで、表したい音楽表現をするために、どのような思いをもって音楽的工夫が必要かを発問して学習していくようにする。</li> <li>・鑑賞で気付いた音楽のよさを適切に言語化していくように言葉を共有していく。</li> </ul> <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習する題材の中で、歌唱表現、器楽表現、鑑賞活動のつながりを考えて指導していく。</li> </ul>

## 令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
図工	<p>(1)対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。</p> <p>(2)造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。</p>	<p>[知識・技能に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料や用具の正しい使い方の理解が十分でない場合がある。</li> <li>・ものをつくったり、表したりする経験や技能に差がある。</li> <li>・制作に対する意欲が高い児童が多くいる一方で、技能が低く、細かい部分まで色を塗れなかったり、作品の仕上げが雑になったり、時間内の終えることのできない児童がいる。</li> </ul> <p>[思考・判断・表現に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりの思いをもって表現することが苦手な児童がおり、教員の提示したものや、教科書の作品、友達の作品を真似してしまう児童がいる。</li> <li>・表したいことに合わせて工夫のできる児童と、どのように工夫したらいいか分からない児童がいる。</li> <li>・題材によっては自分の表したいことなどを考えつくことが難しい児童がいる。自分の見方・考え方を深めることができる児童とできない児童の差が大きい。</li> </ul> <p>[態度に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しをもって活動することが苦手な児童がいる。</li> <li>・5年生に関しては今年度から初めて図工室での授業になったため、絵の具の片付け方等がまだ定着していない児童がいる。</li> <li>・持ち物が揃わない児童がいる。</li> </ul>	<p>[知識・技能に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員が用具の正しい使い方や、作品の作り方などを例示することで技能や理解の定着を図る。</li> <li>・子どもたちが多様な材料や用具を使えるよう、年間計画を立てる。</li> <li>・教員が制作した作品を基に、作り方を例示することで児童の技能の向上を図る。併せて、教員の作品を例示することにより、表現の幅や技能の向上を図る。</li> </ul> <p>[思考・判断・表現に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参考作品を提示したり活動中に児童の作品を見合う場を設定したりすることで、自分の作品の表し方に工夫を取り入れたり、考えを深めたりして、創造的に表現活動ができるように促す。</li> <li>・ワークシートを取り入れるなどして、自分の思いや考えを整理できる工夫をする。学習のめあてや活動内容を視覚化し、見通しをもたせ、毎時間にやるべきことを各自が自覚できるようにする。</li> <li>・鑑賞等で、友達の作品の良さについて互いに伝え合う対話的な活動の場を取り入れる。</li> </ul> <p>[態度に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図工バッグに入れておくものをポスターにして各クラスに掲示する。</li> <li>・図工だよりを発行する等して、児童の意識を高める。</li> <li>・ICTを活用して分かりやすい資料の提示をし、安全に活動できるようにする。また、用具の片付け方等を都度確認し、定着を図る。</li> </ul>

## 令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
家庭	<p>(1) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。</p>	<p>[実習の様子から]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調理や裁縫などの学習では、経験の差に伴い、知識や技能の差が大きい。</li> <li>・実習等の学習では、積極的に活動に取り組むことができる児童が多い。</li> </ul> <p>[家庭生活との関連]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・洗濯や調理など家庭の中で体験している児童が少ないと感じられ、日常生活と学習を結び付けて考えることが難しい児童がいる。</li> <li>・家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて日常生活に必要な基礎的な理解を図ることができているが、実際に日常生活の中で生かすことに課題が見られる。</li> <li>・日常生活の中から自身の問題を見いだすことができている。一方で、課題をどのように解決すればよいのかという改善策を見出すことが難しい児童がいる。</li> </ul>	<p>[知識・技能に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調理実習や裁縫等で新しい用具を使用する際は、ICT 機器を活用することで分かりやすく安全に活動できるようにする。また、用具の使い方や片付け方等を都度確認し、定着を図る。</li> </ul> <p>[思考・判断・表現に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活の営みに関わる見方・考え方」を働かせるために、自分の家庭ではどのような実践ができるのか等の視点で、授業ごとの振り返りを行っていく。</li> </ul> <p>[態度に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全面に注意が必要な学習(ミシン・裁縫等)では、必ずペアで教え合い学習を行い、個人の作品製作だけを目標とするのではなく、安全に実習が進むことを意識できるようにする。</li> <li>・調理の学習では、個々の実践力を高めるために、自分の役割を明確し、調理する機会を増やせるようにしていく。</li> </ul>

## 令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
体育	<p>(1)その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。</p>	<p>[知識・技能に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動や遊びの経験に差があり、技能差が大きい。</li> <li>・年齢や学年相応の技能が身に付いていない児童がいる。</li> </ul> <p>[思考・判断・表現に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しをもって学習に取り組んだり、自身の取り組みに対して振り返ったりすることが難しい児童がいる。</li> </ul> <p>[態度に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝敗に対して素直に受け入れられない場合がある。</li> <li>・運動に意欲的な傾向があるが、苦手意識がある児童もいる。</li> <li>・できることや得意なことはやりたいが、苦手なことには取り組みたくないと考える児童もいる。</li> </ul>	<p>[知識・技能に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種の運動の特性を味わわせるために、運動の行い方を工夫したり、規則を工夫したりする。各種の運動に合わせた実技研修を行うことで、指導法の改善を図る。</li> </ul> <p>[思考・判断・表現に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習資料を共有・活用し、めあてに対する振り返りを重点的に行うことで、毎時間の指導改善と児童の学習改善を図っていく。</li> </ul> <p>[態度に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動に意欲的でない児童や運動が苦手な児童には、個別に声をかけたり、配慮したりすることで、運動に進んで取り組むことができるようにする。</li> <li>・めあてをもって運動に取り組めるようにする。勝敗だけでなく運動した達成感や充実感を味わうことができるようにする。</li> <li>・児童が場や活動を選ぶことができるよう、教材や用具の準備を十分に行うようにする。</li> </ul>

## 令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国際	<p>(1)日本語と外国語との違いを理解し、外国語の音声や文字、文構造や基本的な表現に慣れ親しみ、実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けられるようにする。</p> <p>(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを伝え合えるようにする。</p> <p>(3)異文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語でコミュニケーションをとることができるようにする。</p>	<p>[聞くことについて]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生から国際の授業を行っているため、英語を「聞く」力は高い。</li> </ul> <p>[話すことについて]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自信をもって英語を発話できない児童がいる。</li> <li>・学習した単語や表現が積み上げできておらず、学習した表現を使って、やり取りをすることに困難を示す児童もいる。</li> <li>・「話す(発表)」のように、人前で話すとなるとうまく話せない児童が多い。</li> <li>・「話す(やりとり)」活動において、コミュニケーションの目的意識を感じられず、会話が続かない児童がいる。(1～2往復程度)</li> </ul>	<p>[知識・技能に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌やゲーム、友達と関わる活動などを多く取り入れることで、楽しみながら本時のキーワードを習得できるようにする。</li> <li>・Teacher's Talk を多く取り入れることで、児童が英語を聞くことに慣れる時間を増やす。</li> <li>・単語やキーセンテンスの反復練習の時間は十分に設ける。</li> </ul> <p>[思考・判断・表現に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やりとりの間に中間指導を丁寧に行う。よいコミュニケーションを価値づけたり、言い方のわからないものを確かめたりすることで、会話が活発に行われるようにする。</li> <li>・clear voice (明瞭な発音)、listen carefully(よく聞くこと)、eye contact(目線)、smile(笑顔) の4つのコミュニケーションポイントを常に提示し、児童に意識付けを行う。</li> </ul> <p>[態度に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童にとって身近で興味深い単元目標や単元計画を設定し、授業を実施する。</li> <li>・児童がすすんで「伝えたい、話したい、聞きたい」と思えるような目的・場面・状況を明確にした言語活動を行う。また、最終ゴールまでの見通しをもてるようにし、ゴールを意識しながら毎時間のめあてを立てられるようにする。</li> </ul>

## 令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
道徳	<p>(1)よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。</p>	<p>[自己・他者理解]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の心情を理解しようとしたり、自己の言動を客観的に振り返ったりすることが難しい。</li> </ul> <p>[実生活との関連]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳で扱う教材と実生活を結びつけて考えられる児童が少ない。</li> <li>・学校生活や友達との関わり合いの仕方などについて一定の理解ができている児童が多い。その反面、自立した生活態度をもっているとは言い難く、継続的な指導を必要とする児童も多くいる。</li> <li>・道徳的価値について、頭では大切だ、守らなければならないと理解していることが多い。しかし、実生活につなげたり自分事として捉えたりすることが課題である。</li> </ul> <p>[語彙・表現に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複雑な気持ちを表現する語彙が少ない児童が多い。</li> </ul>	<p>[自己・他者理解に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材文に出てくる登場人物の心情を考え、話し合うことで、他者の心情への理解力や自己の言動を振り返る力を育む。</li> </ul> <p>[資料提示の工夫]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲を向上させるため、導入部分で事前アンケートを活用したり、ICT機器を活用して資料提示を行ったりするなどの工夫をする。</li> </ul> <p>[発問の工夫]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が自己の生き方について考えを深められるように発問の精選を行い、価値理解と同時に人間理解や他者理解も深めていけるようにする。</li> </ul> <p>[活動内容の工夫]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物事を多面的・多角的に考えさせるために、話し合い活動を取り入れていく。</li> <li>・気持ちを表す語彙を獲得したり、自分の考えを深めたりするために、児童が思わず話し合いたくなる授業が展開できるように工夫をする。</li> </ul>

## 令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
特別活動	<p>(1)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。</p> <p>(2)集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。</p> <p>(3)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。</p>	<p>[学級での様子から]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他者と関わる機会が少なく、自分の意見を伝えることや友達の意見に興味をもつことが難しいことがある。</li> <li>・集団への所属感が乏しく、自己中心的な思考や行動をしてしまうことがある。</li> <li>・集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解しているが、行動に移すことが難しい児童がいる。</li> <li>・自分の思いや願いが中心の合意形成を図ろうとすることはできるが、他者の意見を受け入れることが難しい児童がいたり、一部の児童のみで話し合う様子があつたりする。</li> </ul> <p>[行事や他の活動の様子から]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事に向けて、目標を立て、目標達成のために粘り強く取り組むことに課題がある児童もいる。</li> <li>・決まった活動や役割について、自主的・自律的に活動することが難しい児童もいる。</li> </ul>	<p>[学級での活動における工夫]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス遊びや学級活動の機会を増やし、帰属意識を高める。</li> <li>・当番や係活動で集団としての意識を高める。一人一人に役割があるようにし、みんなの役に立っている喜びを味わわせる。</li> <li>・話し合い活動では、話し方や聞き方のモデルを示すことで、自分の意見を言ったり友達の意見をしっかり聞いたりできる態度を育てる。</li> <li>・学級会、係活動などで、自分の役割を理解させ、責任をもって仕事をするを意識させる。それぞれが自分の役割を全うすることで、学級全体がより良くなっていくことを実感できるようにする。</li> </ul> <p>[行事や他の活動における工夫]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事の前には、めあてを立てる時間を十分に確保する。また、自己や学級全体の取り組みを振り返る機会を定期的に設けることで、改善できるようにする。また、できたことを価値づけることで、意欲をもたせる。</li> <li>・委員会活動では、児童と担当教員で相談しながら内容を検討していく。動画や掲示物、校内放送などを活用して校内へ呼び掛けをするなど、工夫して取り組めるようにしていく。</li> <li>・クラブ活動では、教員と児童が活動の内容を検討しながら興味・関心を深める活動を行えるようにしていく。</li> </ul>

## 令和7年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
総合的な学習の時間	<p>(1) 課題の解決に必要な知識・技能を発揮するとともに、地域のよさや特徴を見つめ直し、探究的な学習のよさに気付く。</p> <p>(2) 地域の実社会・実生活の問題から課題を見だし、その解決に向けて情報を集め、情報を整理したり分析したりすることで自分の考えをもち、理由を明確にしてまとめ、相手や目的に応じて、表現する力を身に付ける。</p> <p>(3) 主体的・協働的に学習に取り組むとともに、友達と互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するために探究的に学習を進めることを通して、自己の生き方を考えたり、すすんで社会に参画しようとしたりする態度を養う。</p>	<p>[学習方法に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットを使って調べると情報量が多く、調べたり、まとめたりすることが難しい。</li> </ul> <p>[知識・技能に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元に基づく概念的知識及び主体的に探究的学習を進める技能を系統的に身に付ける必要がある。</li> </ul> <p>[思考・判断・表現に関すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人材・教材開発に努め、児童の思いや願いに合わせた単元づくりを行っているが、児童が自ら課題を設定する力を意図的に身に付けていく必要がある。</li> <li>・友達と合意形成をしたり、建設的な話し合いをしたりすることが苦手である。</li> </ul>	<p>[授業を行う上で留意すること]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一次情報の信頼性や重要性を感じられるように、多様な情報収集方法を体験できるようにする。</li> <li>・莫大な情報の中から必要な情報を取捨選択し、分析できるように、発達段階に応じた思考ツールを教え、整理・分析能力を養う。</li> <li>・探究の学習過程(課題設定、情報収集、整理分析、まとめ表現)が繰り返されるような単元づくりを行う。</li> <li>・他教科と関連付けて指導を行う。</li> </ul> <p>[学校体制として取り組むこと]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元で活用した資料や情報、指導案等は単元ごとにまとめて次の学年に引き継げるようにする。</li> <li>・授業者が地域理解、教材開発に努める。具体的に、地域巡りや地域の方との交流を通して、児童の実態に合わせて単元開発をする。インタビューするなど、地域も含めた協働的な学習活動を重視する。</li> <li>・OJTを行い、総合的な学習の時間の進め方について共通理解を図る。</li> </ul>